

3.11 そのときMCA無線はつながった! 命を救った mcAccess e

災害に強く、情報が一斉に同時につながるMCA無線。
東日本大震災では災害情報、津波情報の共有が従業員様の命を救う出来事がありました。

東日本大震災前に21台のMCA無線と車両位置管理(GPS)システムを導入頂いた株式会社ファーステクノ様。
通常業務において、事務所からGPSによる車両の位置確認、車両への音声指示にMCA無線をご活用頂いていました。

3.11東日本大震災の強い揺れの直後、事務所は停電。事務所ではテレビ、ラジオはつかず、
どこで何が起こったか、全く情報を入手できない状況となりました。
しかし、**発災直後でもMCA無線は事務所から直接、全車両の全社員と話すことができ、安否確認がすぐにできた**のでした。

昇降機、空調システムなどの設備の施工・保守・メンテナンスを主業務とする同社では、社内安否確認の次は、納入先のお客様の設備の稼働確認を行うため、事務所にてGPSによる車両位置を確認の上、仙台空港付近に車両がいるのを見つけ、仙台空港近辺にあるお客様に向かう指示を出しました。

その指示が聞こえていた他の車両の社員は、車のラジオで津波警報を知っていたのです!
「津波警報が出ています。海岸方面は危険です!海岸方向へ行っては行けません!」
という**警報がMCA無線で全車に発せられ、全社員に共有された**のです。

その結果、社員が津波に巻き込まれずに済み、全員無事、事務所に帰還できました。

災害、停電に強く、一斉通話ができる、『つながるMCA無線』が、社員みんなの命を救ったとも言えます。
MCA無線が使えると使えないでは全く違うのです。



事務所から各車両に呼びかける
MCA無線機



全車両の位置を地図に表示。
MCA/GPS車両位置管理システム

使用状況



• 車載型無線機 **21**台
(事務所 1台、車両 20台)



• GPS車両位置
管理システム